

食費負担感3割強、初
生活実感について「かなり苦しい」と「やや苦しい」を合わせると65.5%で、昨年より3ポイント増加しています。具体的な項目では高い順に、「食費」「税・社会保険料」「住居費」でした。「食費」を負担に感じる割合は33%（昨年より6ポイント増）、3割を超えたのは初めてで、およそ3人に1人が食費に負担を感じていることがわかりました。この間の物価高騰の影響で2024年にはエンゲル係数が43年ぶりの高水準となり、アンケート結果でも

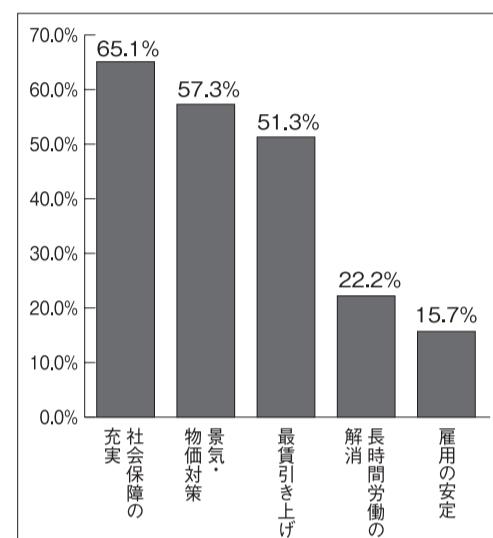
そのことが裏付けられたといえます。

毎年1000円ずつ増

生活実感からの「賃金の不足額」は、平均で45,720円（昨年最終44,111円）で、この数年間は毎年1000円以上の増加となっています。それに伴って賃上げ要求額も月額平均34,362円（同33,325円）で約100円増、時給についても平均203円（同197円）と昨年より高くなっています。

政府に対する要求

政府に対する要求では「社会保障の充実」65.1%、「景気・物価対策」57.3%、「雇用の安定」51.3%、「長時間労働の解消」22.2%、「社会保険の充実」15.7%です。下記QRからも入力できます。届いたカードは政府に提出します。



政府への要求

生活実感について「かなり苦しい」と「やや苦しい」を合わせると65.5%で、昨年より3ポイント増加しています。

具体的な項目では高い順に、「食費」「税・社会保険料」「住居費」でした。「食費」を負担に感じる割合は33%（昨年より6ポイント増）、3割を超えたのは初めてで、およそ3人に1人が食費に負担を感じていることがわかりました。この間の物価高騰の影響で2024年にはエン

ゲル係数が43年ぶりの高水準となり、アンケート結果でも

3割を超えたのは初めてで、およそ3人に1人が食費に負担を感じていることがわかりました。この間の物価高騰の影響で2024年にはエン

ゲル係数が43年ぶりの高水準となり、アンケート結果でも

3割を超えたのは初めてで、およそ3人に1人が食費に負担を感じていることがわかりました。この間の物価高騰の影響で2024年にはエン

ゲル係数が43年ぶりの高水準となり、アンケート結果でも

3割を超えたのは初めてで、およそ3人に1人が食費に負担を感じていることがわかりました。この間の物価高騰の影響で2024年にはエン

ゲル係数が43年ぶりの高水準となり、アンケート結果でも

3割を超えたのは初めてで、およそ3人に1人が食費に負担を感じていることがわかりました。この間の物価高騰の影響で2024年にはエン

ゲル係数が43年ぶりの高水準となり、アンケート結果でも



銀座デモに向う参加者ら

第57回中央委員会後、「ケア労働者の大幅賃上げ実現！26春闘決起行動」を実施。厚労省前に約180人が集まり、現場の実態や地方の医療情勢を訴えながら、報酬改定率の見直しなどを求めました。その後約100人が銀座をデモ行進しながら世論にアピールしました。

木悦子中央執行委員長が開会式で「働きたいニーズがある」との主張に対抗すべく、全労連で緊急アンケートを120人に行なったと報告。「『もう働きたい』との回答は11%。『労働時間を減らしたい』の回答は57%。低賃金で働くを止めたい」と訴えました。

佐々木委員長は、「私たちの運動で診療報酬プラス改定や、介護報酬等の期中改定を実現できた。しかし、他産業との賃金格差を埋める水準にはなっていない。引き続き、大幅引き上げが必要だ」と訴えました。続いている連帯のあいさつとして、全労連の秋山正臣議長が登壇。秋山議長は、ケア労働者の大幅賃上げとなるべき予算の組み換えを求める発言とともに、社会保障

はじめに、岡山県医労連の花田真人書記長が登壇。花田書記長は、「物価高で食べるものを我慢している」という介護労働者の声を紹介。ケア労働者が豊かな暮らしができるまでもな

報酬改定見直し求め 厚労省前宣伝行動

3・12はストライキ 春闘共闘宣言行動で宣言



宣伝行動の様子

全労連・国民春闘共闘は1月14日に、春闘共闘宣伝行動のスタートとして、厚労省前で宣伝行動を行いました。日本医労連もこの宣伝行動に結集し、大幅賃上げのための報酬改定見直しを求める春闘を宣言しました。

厚労省前宣伝行動では、全労連の黒澤幸一事務局長から主催者挨拶と行動提起の後、単産・地域などから4人の代表者による決意表明があり、シユブレヒコールが行われました。

黒澤事務局長は、高市首相の「働きたいニーズがある」との主張に対抗すべく、全労連で緊急アンケートを120人に行なったと報告。「『もう働きたい』との回答は11%。『労働時間を減らしたい』の回答は57%。低賃金で働くを止めたい」と訴えました。



スピーチする
吉田副委員長

かざるをえない実態が明らかになった」と告発し、「みんなで声を上げ、要求書を出し、納得いかない回答には、ストライキで対抗する春闘にしようと呼びかけました。

日本医労連を代表して登壇した吉田岳彦中央副執行委員長は、「いま医療・介護の賃金は、他産業の水準を大きく下回っていて、『選ばれない職業』になっています。このままでは、担い手不足により、日本医療・介護は崩壊します。診療報酬3.09%とのことです。ただし、全然足りません。私たちは、10%以上の引き上げをめざして、3月12日に全国でストライキを行います」と決意表明しました。

日本医労連を代表して登壇した吉田岳彦中央副執行委員長は、「いま医療・介護の賃金は、他産業の水準を大きく下回っていて、『選ばれない職業』になっています。このままでは、担い手不足により、日本医療・介護は崩壊します。診療報酬3.09%とのことです。ただし、全然足りません。私たちは、10%以上の引き上げをめざして、3月12日に全国でストライキを行います」と決意表明しました。

始めよう！新歓準備

「仲間をふやすにはBOOK」
ご声かけの練習をしよう
(日本医労連ホームページからダウンロード可)

昨年の練習風景

新人加入100%を成功させるためには、事前の準備が重要です。日本医労連では、今年も新歓グッズを準備しました。少しスリムになって握りやすくなつた3色ボールペンと、早春らしいピンクと黄緑のクリアファイルです。発注は下記QRからも可能です。

そして自信をもって新人さんに労働組合をアピールするために、「仲間をふやすにはBOOK」も読んで組合内で声かけの練習を重ねましょう！

クリアファイル 今年はピンク(左)黄緑(右)です

申込フォーム
<https://x.gd/P7LVc>
詳細は発099号を参照してください

にぎりやすくなりました



高知
渡川病院
労働組合

新組合 結成



福祉専門職としての待遇が不十分であることに悩み組合を結成しました。専門職に相応しい賃金と良い職場環境を求めるとともに、従事者の社会的地位向上を目指しています。話しを重視し、職場改善に向けた協力を自指し、最終的には全ての福祉従事者が誇りを持って働く環境の実現を目指します。

報酬改定内での賃上げ分や物価高騰に対する考え方など、今後の運動の組み立てのヒントを探ります

参加無料

診療報酬学習会

日時 2月5日木 13:30~14:30
講師 松山洋氏 (保団連/医科政策担当)
参加費 無料
形式 Zoomオンライン
申込 不要 (当日、下記URLよりお入りください)
URL <https://x.gd/g2Big>
ミーティングID 920 0729 0146
パスコード 260205

主催 日本医労連 社会保障・地域医療対策委員会
shaho@irouren.or.jp

社会保障。
地域医療
対策委員会

診療報酬学習会



【診療報酬学習会】

日時：2月5日（木）13時30分～14時30分
形式：完全オンライン（Zoom）
申込：不要
(当日、上記ID・パスコードでご参加ください)
参加：無料
問い合わせ：社会保障・地域医療対策委員会
(メール) shaho@irouren.or.jp

2026年
仲間ふやし&
みんなの助けあい
交流集会

日時 2月14日(土) 14時～16時
新人加入 100%
お申込み <https://x.gd/0HmGd>

単組・支部から
参加しよう

平均待機時間
等々
要求と取り組み
させ
た
好事例

完全オンライン
ミーティングID 829 6658 9611
パスコード 565001

組織共闘局 & 共済事業局
03-3875-5871 sosiki@irouren.or.jp

2026
仲間ふやし
みんなの助けあい
交流集会



【2026年 仲間ふやし&みんなの助けあい交流集会】

日時：2月14日（土）14時～16時
形式：完全オンライン
申込：<https://x.gd/0HmGd>
※右QRからも申し込みできます
参加：無料
問い合わせ：組織共闘局または共済事業局
(TEL) 03-3875-5871 (メール) sosiki@irouren.or.jp

